消防年報

令和元年版

北広島市消防本部

北広島市の概要

ＢＯＹＳ　ＢＥ　ＡＭＢＩＴＩＯＵＳ

　北広島市は、札幌市と新千歳空港の間に広がるなだらかな丘陵地帯にあり、豊かに息づく緑の環境、ゆとりの土地空間、整備された交通網など自然と都市機能が調和した街です。

　明治１７（１８８４）年に広島県人２５戸１０３人が集団移住し、開拓の鍬がおろされてからおよそ１３０年。道央圏のなかで宅地開発や工業団地の造成、都市施設の整備が着実に進められ、平成８（１９９６）年９月に市制を施行しました。

　クラーク博士が『ボーイズ・ビー・アンビシャス』の名言を残したゆかりの地。そのフロンティア精神を受け継ぐ人々が住むこの街は、美しい生活文化都市の創造のため、歩み続けています。

基本情報

・人　口：５８，４９２人　（平成３１年４月現在）
・世帯数：２７，６７７世帯（平成３１年４月現在）
・面　積：１１９．０５㎢

交通アクセス

・ＪＲ北広島駅から快速電車で札幌まで約１６分、新千歳空港まで約２０分。
・羽田空港から新千歳空港まで約１時間３０分。
・関西空港から新千歳空港まで約２時間１０分。

北広島市の位置

北海道
北広島市
消防署西の里出張所（第4分団）
〒061-1105
北海道北広島市西の里東1丁目4-20
TEL011-375-3119
消防署大曲出張所（第3分団）
〒061-1270
北海道北広島市大曲2-8
TEL011-377-3020
上野幌
西の里
274
第１分団
北広島IC
北広島
大　曲
JR千歳線
北広島市消防本部
〒061-1132
北海道北広島市北進町1丁目3-1
総務課/TEL011-373-3100
予防課/TEL011-373-9119
警防課/TEL011-373-2321
輪厚スマートIC
高規格幹線道路
北広島市消防署
〒061-1132
北海道北広島市北進町1丁目3-1
TEL011-373-2322
輪　厚
35
第２分団
N

目　　次

沿革
北広島消防の歴史……　２
過去の主な災害記録……　６

総務関係
組織及び事務分掌……　９
消防力と消防予算の状況……１０
教育等派遣状況……１１
職員資格取得状況……１２
消防施設の状況……１３
消防車両の状況……１４
団員勤続年数・職業別状況……１５
団員状況……１６

指令関係
災害等覚知別受報状況……１８
北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況……１９
応援要請・解除・通知書及び活動報告書一覧……２０

警防関係
災害出動状況……２２
過去５年の出動状況……２３

救急関係
救急出動状況……２５
年齢別救急搬送人員状況……２６
過去５年の救急出動状況……２７
応急手当講習会実施状況……２８

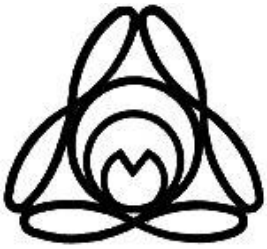
火災関係
火災発生状況……３０
月別火災発生状況……３１
火災種別出火件数の推移……３２

出火件数・損害額の推移……３３
過去５年の原因別火災発生状況・時間別火災発生状況……３４

救助関係
救助出動状況……３６

予防関係
予防関係各種届出状況……３８
消防同意処理状況……３９
防火対象物状況……４０
危険物施設状況……４１
広報活動状況……４２

沿　革



北　広　島　消　防　の　歴　史

私設消防時代

大正　２年　５月	広島村初の火防組合が結成された。
大正　７年　３月	火防組合が解散し、これに代わり私設消防組が発足。 消火資器材として、トビ、布袋等を使用したと伝えられる。
昭和　９年　７月	消防組が改組され、消火機材に腕用ポンプを導入した。
昭和１０年　４月	寄付等で運営されていた消防組に村費より初の補助があり、新たに腕用ポンプ及びホース、布製タンク、布製バケツ等を購入した。

公設消防時代

昭和１２年　２月	議会で広島村消防組の設置が決定され、東部地区に第１分団、西部地区に第２分団を配置した。
昭和１４年　４月	戦時態勢により消防組と防護団が併合され広島村警防団を設置し、火防の他、灯火管制、警報を任務とした。
昭和２２年　７月	終戦により広島村警防団が解散し、新たに広島村消防団を設置した。
昭和２４年　３月	初の消防ポンプ自動車（三輪車）が導入され第１分団に配置した。また、腕用ポンプは第２分団に配置した。
昭和２７年１２月	広島６３番地に第１分団の総合的な消防会館が竣工し、機材置場及び管理人住宅を併置した。
昭和２８年　２月	ポンプ自動車（四輪車）を第１分団に配置し、三輪自動車は廃車。
昭和３２年　２月	可搬動力ポンプを第２分団に配置した。
昭和３３年　２月	可搬動力ポンプを第１分団に配置した。
昭和３４年　３月	第２分団にポンプ運搬用の三輪自動車を配置した。
昭和４０年　８月	第２分団の機材置場を改築し、四輪ポンプ自動車を配置した。
昭和４３年　１月	大曲地区の発展に伴い第３分団を配置した。
昭和４９年　４月	西の里地区の発展に伴い第４分団を配置した。

近代消防時代

昭和４９年　４月	町の発展に伴い広島町消防本部及び消防署が、政令による常備体制の指定に基づき発足した。
昭和４９年１２月	消防庁舎が現在の北進町１丁目に竣工した。
昭和５０年　８月	署に救急車を配置し救急業務を開始した。（車両は北海道共済連より寄贈された）
昭和５２年　３月	署に小型動力ポンプ付水槽車（水槽容量10ｔ）を配置した。（防衛施設庁の補助による）

昭和５２年　７月	町内の医療施設により内科、小児科の夜間休日の当番医療体制が開始され救急医療体制が充実した。
昭和５２年１２月	署にはしご付き消防ポンプ自動車（30㍍級）を配置した。
昭和５４年　８月	北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会を当町（広葉中学校）で開催した。
昭和５４年１０月	道央自動車道の札幌南インターチェンジと北広島インターチェンジの開通により、第３分団詰所に職員３名を常駐させ、救急車１台を配置した。
昭和５５年１２月	大曲地区の発展に伴い、消防署大曲出張所を開設（第３分団詰所併置）し職員１１名と水槽付ポンプ自動車、救急車、ポンプ自動車（第３分団）を再配置した。
昭和５６年　４月	夜間急病センターが開設（診療科目は内科、小児科）された。
昭和５６年　６月	予防業務の拡充に伴い、本部に広報車を導入した。
昭和５７年　９月	無線電話の基地局を富ヶ岡（北広島リハビリセンター）から大曲（大曲出張所）に移設した。
昭和５７年１０月	消防指令装置（　Ｉ　型　）を導入した。
昭和５８年　７月	全道消防救助技術訓練指導会に初参加した。
昭和５８年　８月	消防無線電話装置に全国共通波を増設した。（基地局は、消防本部に配置した）
昭和６２年　７月	消防署の機構改革により副署長を配置した。
平成　２年　３月	消防署に救助工作車を配置した。
平成　２年１０月	消防署の気象観測装置を更新した。
平成　４年　８月	無線サイレン吹鳴装置を更新した。
平成　５年　４月	在宅当番医の自動案内装置が導入され、運用を開始した。
平成　５年　６月	消防無線電話装置基地局（全国共通波）を更新した。
平成　５年１２月	西の里地区の人口増加に伴い、消防署西の里出張所を開設（第４分団詰所併設）し、水槽付ポンプ自動車を配置した。
平成　６年　５月	救急救命士第１号が誕生する。
平成　６年１１月	救急車２台に患者監視装置が装備され、応急処置拡大９項目中７項目の実施体制となる。（心電図電送を除く）
平成　８年　６月	消防団に初めて女性消防団員１０名を採用した。
平成　８年　８月	全国消防救助技術大会（札幌市）に初参加した。
平成　８年　９月	市制施行に伴い、北広島市消防本部及び消防署と名称変更した。
平成　８年１０月	消防職員委員会が発足した。
平成１３年　３月	第１分団詰所を改築した。
平成１３年　７月	消防署の水槽付消防ポンプ自動車を化学消防ポンプ自動車に更新し、はしご付消防自動車（38m級）を更新した。

平成１３年　８月　　札幌圏防災関係機関合同訓練を実施した。（大曲工業団地）
平成１４年　３月　　消防本部・消防署の増築庁舎が完成した。（RC３階建136,144㎡）
平成１４年　６月　　北海道消防協会札幌地方支部消防総合訓練大会を当市で開催した。
平成１５年　３月　　消防緊急通信指令施設（ Ⅱ 型 ）を導入、運用を開始した。
平成１５年１１月　　大曲出張所の救急車を高規格救急車に更新した。
平成１７年１２月　　本署の高規格救急車を更新した。
平成１９年　４月　　非常時の災害復旧の拠点として北広島市防災センターが共栄586-10に設置された。
平成２０年　３月　　本部の広報車を調査車として更新した。
平成２１年　３月　　本署の救助工作車を更新した。
平成２３年　３月　　本部の指揮車を更新し、使用していた車両を連絡車として運用を開始した。
平成２３年１０月　　大曲出張所の高規格救急車を更新した。
平成２４年　３月　　本部に資機材搬送車を導入し、小型ポンプ付水槽車を更新した。
平成２５年　２月　　大曲出張所の水槽付消防ポンプ自動車を本市初のＣＡＦＳ装置を搭載した水槽付消防ポンプ自動車に更新した。
平成２６年　１月　　本署の高規格救急車を更新した。
平成２６年　３月　　消防救急デジタル無線を石狩振興局管内の６消防本部で共同整備し、運用を開始した。
平成２６年　３月　　高機能消防指令システム（離島型）を更新整備し、運用を開始した。
平成２６年　８月　　大曲地区の人口増加や大型商業施設の進出に伴い、大曲出張所（第３分団詰所併設）を移転し運用を開始した。
平成２７年　２月　　西の里出張所の水槽付消防ポンプ自動車をＣＡＦＳ装置を搭載した水槽付消防ポンプ自動車に更新した。
平成２７年１２月　　第３分団の消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。
平成２８年　４月　　公益財団法人北海道消防協会札幌地方支部内消防団相互応援協定を締結した。
平成２８年１１月　　北海道消防表彰に於いて優良消防団表彰旗を受章した。
平成２８年１２月　　第１分団の水槽付消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。
平成２９年１２月　　第４分団の水槽付消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。
平成３０年　３月　　消防功労者消防庁長官表彰に於いて表彰旗を受章した。

平成３０年１１月　第２分団の水槽付消防ポンプ自動車を救助資機材を搭載した小型動力ポンプ付積載車に更新した。
平成３１年　２月　大曲出張所の高規格救急車を更新した。
平成３１年　４月　消防本部に初めて女性職員を採用した。
令和　元年　６月　夜間急病センターが移設した。

協力団体関係

昭和５９年　１月　大曲地区に婦人防火クラブを結成した。
昭和５９年　５月　広島町防火委員会を結成した。
昭和５９年　９月　東部地区に幼年消防クラブを結成した。（広島大谷幼稚園）
昭和６０年　７月　大曲地区に幼年消防クラブを結成した。（大曲大谷幼稚園）
昭和６０年１０月　東部地区に幼年消防クラブを結成した。（広島幼稚園）
昭和６０年１２月　ひろしま少年消防クラブを結成した。
昭和６１年　３月　東部地区に婦人防火クラブを結成した。
昭和６２年１０月　西の里地区に幼年消防クラブを結成した。（西の里きらきら保育園）
昭和６３年　５月　広島町危険物安全協会を設立した。
平成　元年１０月　日本防火協会より幼年消防クラブ（広島大谷幼稚園）に鼓笛隊セットが寄贈された。
平成　４年　２月　東部地区に幼年消防クラブを結成した。（天使幼稚園）
平成　４年１０月　日本防火協会より幼年消防クラブ（大曲大谷幼稚園）に鼓笛隊セットが寄贈された。
平成　５年　９月　第１１回婦人防火全国大会（夕張市）に２婦人防火団体が出席した。
平成１０年　５月　北広島市危険物安全協会創立１０周年
平成１１年　５月　輪厚地区に幼年消防クラブを結成した。（輪厚保育園）
平成２０年　５月　北広島市危険物安全協会創立２０周年
平成２２年　９月　北海道・東北ブロック婦人（女性）防火クラブ連絡協議会に出席した。（２名）
平成２４年　６月　西の里地区に婦人防火クラブを結成した。
平成２８年１１月　北広島団地地区に幼年消防クラブを結成した。（北広島かおり幼稚園）
平成２９年１０月　北広島団地地区に幼年消防クラブを結成した。（認定こども園北広島わかば幼稚園）

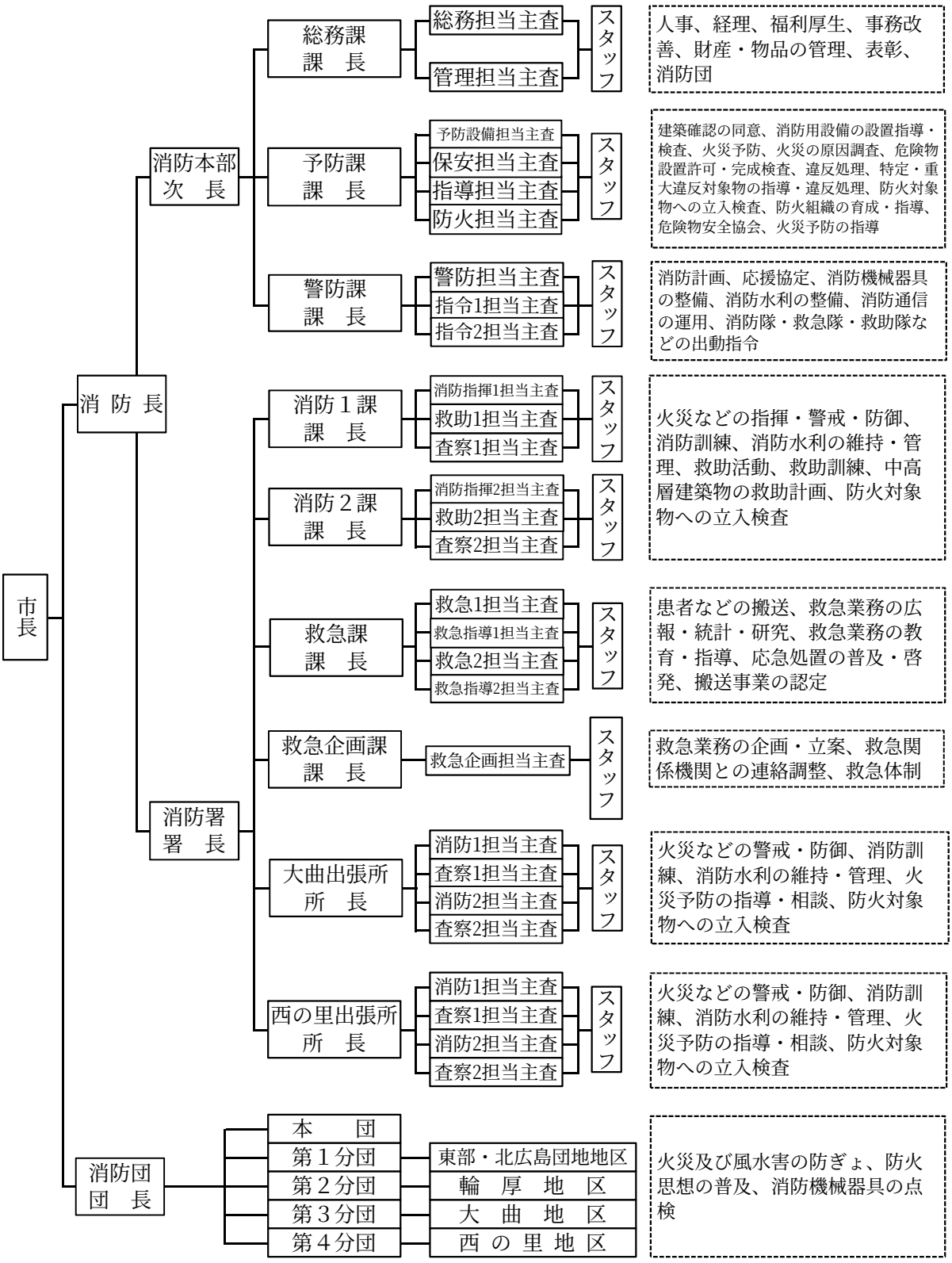
過　去　の　主　な　災　害　記　録

明治３１年　９月　７日	中の沢に水害が発生した。
大正　３年　８月～９月	中の沢地区に水害が発生し、水１０尺余、被害面積３００町歩余、被害総額３，４３４千円。
昭和１４年　４月	児童福祉施設天使の園が全焼１９７坪を焼失した。原因は失火。
昭和１５年　４月２４日	広島市街の大火。１６戸２８棟焼失し近隣の消防の応援を受けた。原因は不明。
昭和２１年　４月	中の沢地区に水害が発生した。６０４町歩が冠水し、被害総額６，０３０千円。
昭和２３年　４月　７日	吉本宅及び杉山宅の２戸１棟が全焼し、２２．５坪が焼失した。
昭和２５年　８月　１日～３日	開村以来の水害。降雨量３００㎜を超え、広島市街及び中の沢地区にかけ被害が発生し、家屋流失、半壊１３棟等で被害総額３１，８７７千円。
昭和２７年　７月　２日	富ヶ岡学園の寮舎４５４坪のうち２１０坪が焼失した。恵庭・島松消防、警察予備隊の応援を受けた。
昭和２９年　９月２６日	台風１５号で死者１名、建物全半壊３４０棟、農林等被害総額６６，３００千円。
昭和３０年１２月	光顕寺本堂１００坪が全焼した。原因はロウソク。
昭和３４年　９月	中の沢地区と各河川流域で水害が発生した。被害面積５００町歩、特に土木農林施設に被害が多く、被害総額は９，０３７千円。
昭和３７年　８月	台風第９号及び第１０号の影響により中の沢地区が冠水した。
昭和３９年　６月	集中豪雨により中の沢地区が冠水した。
昭和４０年　９月	台風第２３号の影響により中の沢地区が冠水した。
昭和４３年　５月	十勝沖地震により全村に被害があり、特に集合煙突の倒壊が目立った。震度は４．５から５と推定される。
昭和５０年　８月２２日～２３日	台風第６号の影響により水害が発生し、輪厚川及び千歳川が氾濫した。被害面積５０６ヘクタール、被害総額１９２，２２９千円。
昭和５６年　８月　３日～２３日	約３週間に渡り、台風第１５号及び第２３号の影響と雨の影響で島松川及び輪厚川の堤防が決壊した。
昭和５９年　６月　２日	大曲にある病院の職員送迎バスが野津幌川に転落し、看護婦ら３６名が重軽症を負った。
昭和６２年　８月２５日～２６日	台風第１２号の影響で豪雨（２９８㎜）があり、土木及び農業施設に被害が発生した。被害総額１６２，１３３千円。

平成　２年１０月　７日	町立の中学校で火災が発生し、校舎１３７平方メートルが焼失した。被害総額２１，１００千円。
平成　３年　８月　９日	南里酪農家の牧草収納庫から出火、牛舎、物置等４棟が全焼した。被害総額５３，０６２千円。
平成　５年　９月１３日	大曲工業団地で倉庫の全焼火災があり、鎮火まで約１０時間を要した。被害総額４２０，１５０千円。
平成１６年　９月　８日	台風第１８号の影響により突風で飛ばされるなど４名の市民が重軽症を負う。また野菜の倒伏、街路樹の倒木等の被害が発生した。被害総額１４０，２４７千円。
平成３０年　９月　５日	台風第２１号の影響による倒木撤去作業中に２名の市職員が重軽症を負う。また、屋根の飛散、物置の倒壊、街路樹の倒木等の被害が発生した。
平成３０年　９月　６日	北海道胆振東部地震により、市内において震度５弱を観測、７名の市民が重軽症を負う。また、市内全域で停電が発生、住家被害は２９３棟に及んだ。

総　務　関　係

組 織 及 び 事 務 分 掌


市長
消防長
消防本部 次長
総務課 課長
総務担当主査
管理担当主査
スタッフ
人事、経理、福利厚生、事務改善、財産・物品の管理、表彰、消防団
予防課 課長
予防設備担当主査
保安担当主査
指導担当主査
防火担当主査
スタッフ
建築確認の同意、消防用設備の設置指導・検査、火災予防、火災の原因調査、危険物設置許可・完成検査、違反処理、特定・重大違反対象物の指導・違反処理、防火対象物への立入検査、防火組織の育成・指導、危険物安全協会、火災予防の指導
警防課 課長
警防担当主査
指令1担当主査
指令2担当主査
スタッフ
消防計画、応援協定、消防機械器具の整備、消防水利の整備、消防通信の運用、消防隊・救急隊・救助隊などの出動指令
消防署 署長
消防１課 課長
消防指揮1担当主査
救助1担当主査
査察1担当主査
スタッフ
消防２課 課長
消防指揮2担当主査
救助2担当主査
査察2担当主査
スタッフ
火災などの指揮・警戒・防御、消防訓練、消防水利の維持・管理、救助活動、救助訓練、中高層建築物の救助計画、防火対象物への立入検査
救急課 課長
救急1担当主査
救急指導1担当主査
救急2担当主査
救急指導2担当主査
スタッフ
患者などの搬送、救急業務の広報・統計・研究、救急業務の教育・指導、応急処置の普及・啓発、搬送事業の認定
救急企画課 課長
救急企画担当主査
スタッフ
救急業務の企画・立案、救急関係機関との連絡調整、救急体制
大曲出張所 所長
消防1担当主査
査察1担当主査
消防2担当主査
査察2担当主査
スタッフ
西の里出張所 所長
消防1担当主査
査察1担当主査
消防2担当主査
査察2担当主査
スタッフ
火災などの警戒・防御、消防訓練、消防水利の維持・管理、火災予防の指導・相談、防火対象物への立入検査
消防団 団長
本　団
第１分団
第２分団
第３分団
第４分団
東部・北広島団地地区
輪 厚 地 区
大 曲 地 区
西 の 里 地 区
火災及び風水害の防ぎょ、防火思想の普及、消防機械器具の点検

消 防 力 と 消 防 予 算 の 状 況

（平成３1年４月１日現在）

消防力と人口比較

	消防職員１人当り	消防団員１人当り	消防自動車等１台当り
面　積	1.25㎢	1.04㎢	6.27㎢
人　口	615.39人	512.82人	3,076.95人
世　帯	290.21世帯	241.84世帯	1,451.05世帯

当初予算

単位：千円

区分 年度	一般会計	消防分					一般会計の比率(%)	市民１人当り(円)	１世帯当り(円)
		職員費	常備	非常備	施設	合計			
30	23,473,661	776,299	137,170	19,423	19,357	952,249	4.06	16,212	34,757
元	26,392,193	794,762	76,464	19,048	18,512	908,786	3.44	15,545	32,963
前年度比	2,918,532	18,463	▲ 60,706	▲ 375	▲ 845	▲ 43,463	▲ 0.61	▲ 667	▲ 1,795

決　　算

単位：円

区分 年度	一般会計	消防分					一般会計の比率(%)
		職員費	常備	非常備	施設	合計	
29	26,331,222,753	786,440,609	95,246,358	17,906,859	16,927,441	916,521,267	3.48
30	24,164,915,129	790,262,243	125,475,839	19,612,204	17,168,484	952,518,770	3.94
前年度比	▲ 2,166,307,624	3,821,634	30,229,481	1,705,345	241,043	35,997,503	0.46

教育等派遣状況

課程＼年度				26	27	28	29	30	31
職員	消防大学		新任消防長研修	1		1			
			警防科				1		
	北海道消防学校	初任教育		2	5		3	4	2
		専科教育	警防科	1	1	1			
			予防査察科			1	1	1	
			危険物科				1		
			火災調査科	2	2	2	1	1	
			救急科	1		1	2	1	2
			救助科		1				1
		特別教育	はしご自動車運用課程	1	1	1			
			ポンプ操法指導員課程						
			気管挿管講習	1		1			
			薬剤投与講習						
			都市型救助課程			1	1	1	
		気管挿管再認定講習		1	3	1	2		
		ビデオ硬性喉頭鏡講習		1	1	2	2	1	2
	札幌市消防学校　現場指揮研修			1	1	1	1		
団員	道消防学校	基礎教育課程		1	1		1		
		女性教育			1			1	
		幹部教育課程		1	1				
	その他	現地教育訓練		18	23	20	22	20	
合計				32	41	33	38	30	

職 員 資 格 取 得 状 況

資格＼階			司令長 (1)	司令 (10)	司令補 (26)	士長 (35)	消防士 (16)	その他 (1)	合計
運転免許	大型	1種		10	26	30	6		72
		2種							0
	中型					0	1		1
	中型(8t)		1			3		1	5
	準中型					2	9		11
車両系建設機械運転資格				4	14	16	2		36
救急資格	Ⅰ課程								0
	Ⅱ課程			6	4		1		11
	標準・救急科			2	14	24	1		41
	救急救命士			2	7	8	8		25
救助資格				3	11	14	2		30
小型移動式クレーン				9	25	22	4		60
玉掛技能				9	25	19	5		58
ガス溶接技能				9	13	13	2		37
酸素欠乏危険作業主任者	酸素欠乏			5	12	7	1		25
酸素欠乏危険作業主任者	硫化水素			1	9	7			17
小型船舶操縦士（限定２級以上）				3	9	8	2		22
危険物取扱者	甲種				1	1			2
	乙種２類					1			1
	乙種３類				1				1
	乙種４類			8	14	15	6		43
	乙種５類								0
	乙種６類					1			1
	丙種				1	1			2
消防設備士	甲種４類				1				1
	乙種１類					1			1
	乙種４類				1				1
	乙種６類				1	1			2
	乙種７類				1				1
陸上特殊無線無線技士	１級								0
	２級			3	3	2			8
	３級			1	11	16	5		33
第１種衛生管理者									0

消 防 施 設 の 状 況

庁　舎　　（令和元年１２月３１日現在）

名　称	所　在　地	敷地面積	面積（㎡）	
			建築面積	延べ面積
	構　　造	竣　　工		
消防本部 消防署	北進町1丁目3番地1	2,994.96	1,051.88	2,224.51
	鉄筋コンクリート（3階建）	昭和49年12月 (平成14年3月増築)		
大曲出張所 第３分団 （併置）	大曲2番地8	2,775.00	486.94	886.44
	鉄筋コンクリート（2階建）	平成26年8月		
西の里出張所 第４分団 （併置）	西の里東1丁目4番地20	1,398.02	458.16	466.98
	鉄筋コンクリート一部コンクリートブロック(平屋一部2階建)	平成5年12月		
第１分団	共栄町1丁目1番地1	389.76	92.15	180.26
	鉄筋コンクリート(2階建)	平成13年2月		
第２分団	輪厚中央4丁目14番地3	823.96	120.00	120.00
	コンクリートブロック（平屋建）	昭和56年10月		

消防水利　　（令和元年１２月３１日現在）

種／地	消火栓（単口）	消火栓（双口）	消火栓（合計）	防火水槽	合　計	前　年　比	
						前　年	増　減
東部地区	152	4	156	22	178	178	0
北広島団地	111	13	124	9	133	133	0
輪厚地区	46	0	46	13	59	59	0
大曲地区	157	1	158	31	189	189	0
西の里地区	42	1	43	13	56	55	1
合　計	508	19	527	88	615	614	1

消 防 車 両 の 状 況

（令和元年１２月３１日現在）

	種別	車名 型式	取得年月日	排気量(ℓ)	型式等	ポンプ級別	水容量(ℓ)	性能等
本部	指揮車	トヨタ LDF-KDH 206K	H23年3月	2.98				４WD、ＡＴ
	調査車	トヨタ DBA-ANM15G	H20年3月	1.99				４WD、ＡＴ
	資機材搬送車	トヨタ CBF-TRH226K	H24年3月	2.69				４WD、ＡＴ
消防署	水槽付ポンプ車	三菱 KC-FK618GWｶｲ	H８年２月	8.2	水１-A	A-2	1,500	小型ポンプ(B-2)積載
	化学消防ポンプ自動車	日野 KL-FH2PHGAｶｲ	H13年7月	10.52	水Ⅱ	A-2	3,000	薬液500ℓ
	救助工作車	日野 BDG-FH1ALXAｶｲ	H21年3月	8.86	Ⅱ			ＡＴ
	はしご付消防自動車	日野 KL-PR4FPHF	H13年6月	20.78				38m級、ＡＴ
	高規格救急車	日産 CBF-FPWGE50ｶｲ	H26年1月	3.49				４WD、ＡＴ
大曲出張所	水槽付ポンプ車	日野 QKG-FH1AHAAｶｲ	H25年2月	8.86	水Ⅱ	A-2	3,000	ＣＡＦＳ、ＡＴ
	小型ポンプ付水槽車	日野 LDG-FR1APBAｶｲ	H24年3月	8.86	Ⅱ	小型PB-3	9,000	ＡＴ
	高規格救急車	日産 CBF-CS8E26改	H31年2月	2.48				４WD、ＡＴ
	連絡車	いすゞ KH-UBS73GW	H10年9月	2.99				４WD、ＡＴ
西の里出張所	水槽付ポンプ車	日野 LDG－FE7JJAA	H27年2月	6.40	水Ⅱ	A-2	3,000	ＣＡＦＳ、ＡＴ
	高規格救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H23年10月	2.69				４WD、ＡＴ
第１分団	積載車	いすゞ 4WD TPG-NHS85AN	H28年11月	2.99				小型ポンプ(B-3)積載
	ポンプ車	トヨタ KK-XZU372	H12年3月	4.61		B-2		小型ポンプ(B-2)積載
第２分団	積載車	いすゞ 4WD TPG-NHS85AN	H30年11月	2.99				小型ポンプ(B-3)積載
第３分団	積載車	いすゞ 4WD TPG-NHS85AN	H27年12月	2.99				小型ポンプ(B-3)積載
第４分団	積載車	いすゞ 4WD TPG-NHS85AN	H29年11月	2.99				小型ポンプ(B-3)積載

団 員 勤 続 年 数・職 業 別 状 況

団 員 勤 続 年 数　　（平成３1年４月１日現在）

階級／年数	団　長	副団長	分団長	副分団長	部　長	班 長	団 員	合　計
40年　以上	1					1		2
35年～39年							1	1
30年～34年			1	1			1	3
25年～29年		1	1			1		3
20年～24年				2	1	6		9
15年～１9年		1	1		1	1	4	8
10年～１4年			1	1	4	4	6	16
5年～　9年						9	23	32
5年　未　満						1	29	30
合　　計	1	2	4	4	6	23	64	104
勤 続 平 均	47	22	22.75	21	14.17	14.26	6.78	10.7

団　員　職　業　別　　（平成３1年４月１日現在）

区分／組織	農　業	建設業	小売業	製造業	運輸通信	サービス業	公務員	金融業	その他	合 計
本　　部	2	2	1			3	1	1	3	13
第 1 分 団	2	2	7		5	12		1	1	30
第 2 分 団	7	3	2	1		4		1	2	20
第 3 分 団		2	8		2	3			2	17
第 4 分 団	3	5	2	4	5	4	1			24
合　　計	14	14	20	5	12	26	2	3	8	104

団 員 状 況

団　　員　　数　　（平成３１年４月１日現在）

階級／組織	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計	前年比		定員
									前年	増減	
本　団	1	2			1	2	7	13	15	▲ 2	15
第1分団			1	1	2	7	19	30	32	▲ 2	35
第2分団			1	1	1	5	12	20	24	▲ 4	25
第3分団			1	1	1	4	10	17	18	▲ 1	20
第4分団			1	1	1	5	16	24	25	▲ 1	25
合　計	1	2	4	4	6	23	64	104	114	▲ 10	120

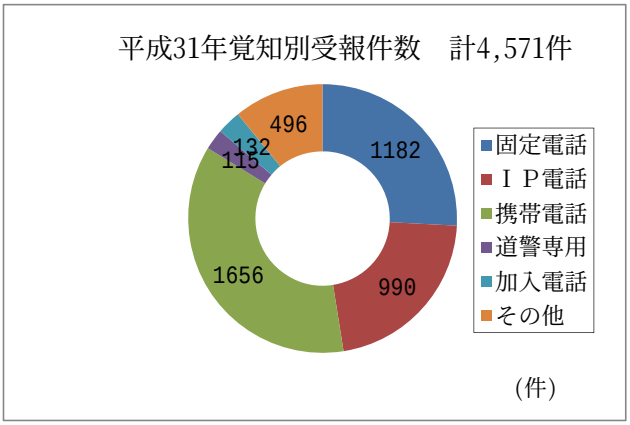
団　員　年　齢　　（平成３１年４月１日現在）

階級／年齢別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計	前年比	
									前年	増減
60歳以上	1	2	2	3	1	5	2	16	23	▲ 7
50歳～59歳			1	1	3	10	15	30	29	1
40歳～49歳			1		2	6	33	42	45	▲ 3
30歳～39歳						2	10	12	12	0
20歳～29歳							4	4	4	0
20歳未満							0	0	1	▲ 1
合　計	1	2	4	4	6	23	64	104	114	▲ 10
平均年齢	74	64.5	58.25	63.25	男性50.4 女性61	男性 53.25 女性 57.33	男性 44.05 女性 47.92	全体 48.94 （男性48.67 女性50.5）	全体 49.0 （男性49.2 女性50.6）	

指　令　関　係

災　害　等　覚　知　別　受　報　状　況

令和元年中の受報件数は4,571件となっております。通報別では固定電話が1,182件、IP電話が990件、携帯電話が1,656件、北海道警察専用回線が115件、加入電話が132件、上記以外の通報が496件となっています。



月別受報状況

区分＼月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	前年比	
														前年	増減
火　災	2	1	1	10	3	4	0	0	1	0	3	0	25	22	3
警　戒	4	5	3	8	5	6	1	8	8	1	6	10	65	87	▲ 22
調　査	2	2	1	3	3	3	0	0	2	2	2	1	21	34	▲ 13
救　急	206	150	156	172	182	182	187	190	191	185	192	216	2,209	2,166	43
高速救急	0	0	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	6	5	1
救　助	2	6	4	1	4	5	7	5	4	4	3	2	47	48	▲ 1
水　防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
危険排除	28	26	23	19	18	23	21	31	24	30	28	25	296	363	▲ 67
特殊災害	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0
問い合せ	59	46	42	69	82	63	63	64	61	48	56	58	711	626	85
まちがい	9	10	17	16	9	30	19	17	21	14	15	24	201	187	14
訓　練	8	8	17	12	37	70	22	17	47	49	30	11	328	322	6
いたずら	6	1	0	1	1	1	0	3	1	2	2	0	18	12	6
試験等	103	78	34	42	25	31	14	25	32	85	30	23	522	523	▲ 1
転　送	7	7	8	13	11	8	10	16	16	11	5	9	121	125	▲ 4
合　計	436	340	308	366	380	427	345	377	408	431	373	380	4,571	4,521	50

北海道広域消防相互応援協定に基づく出動状況

令和元年12月31日現在

1　応援出動状況

分類／種別	件数	出動隊数（支援隊含）	隊員数	搬送人員	応援先
火災出動	2	11	32	0	札幌市（1件） 夕張市（1件）
救助出動	3	15	44	1	江別市（1件） 恵庭市（1件） 長沼町（1件）
救急出動	8	15	47	10	札幌市（2件） 恵庭市（5件） 長沼町（1件）
警戒出動	0	0	0	0	
計	13	41	123	11	札幌市（3件）恵庭市（6件） 江別市（1件）夕張市（1件） 長沼町（2件）

2　応援要請状況

分類／種別	件数	出動隊数（支援隊含）	出場人員	搬送人員	要請先
火災出動	2	18	84	0	札幌市（2件）
救助出動	2	5	18	2	札幌市（1件） 恵庭市（1件）
救急出動	6	8	25	5	札幌市（1件） 恵庭市（5件）
警戒出動	3	9	28	0	恵庭市（3件）
計	13	40	155	7	札幌市（4件） 恵庭市（9件）

応援要請･解除･通知書及び活動報告書一覧

応援出動状況　（他市町へ応援した事案）

No.	通 し No.	月　日	時　間	要請側	派遣側	出動隊数	隊員数	搬送者数	出動種別
1	1	1月4日	17時02分	恵庭	北広島	1	4	1	救急
2	2	1月21日	9時07分	恵庭	北広島	1	3	1	救急
3	4	3月14日	18時22分	恵庭	北広島	8	24	0	特殊救助
4	5	4月19日	18時00分	※小樽	北広島	6	16	0	火災（広域応援）
5	6	4月23日	20時35分	札幌	北広島	2	6	0	救急
6	10	5月25日	13時34分	江別	北広島	3	8	0	救助
7	13	6月11日	21時00分	長沼	北広島	4	12	1	救助
8	18	8月18日	15時15分	長沼	北広島	4	11	3	救急
9	20	10月4日	11時26分	恵庭	北広島	1	3	1	救急
10	22	11月6日	17時52分	札幌	北広島	5	16	0	火災
11	23	11月14日	19時03分	札幌	北広島	3	10	2	救急
12	24	11月17日	8時07分	恵庭	北広島	1	3	1	救急
13	26	12月21日	2時06分	恵庭	北広島	2	7	1	救急
合　計						41	123	11	

	件　数	出動隊数	隊員数
火　災	2	11	32
救　助	3	15	44
救　急	8	15	47
その他	0	0	0
合　計	13	41	123

※№4は、夕張市への派遣4回分合計である。
※「救急」で複数隊派遣は、複数傷病者事案のため消防隊も出動している。

	件数	出動隊数	隊員数
札幌	3	10	32
恵庭	6	14	44
千歳	0	0	0
江別	1	3	8
長沼	2	8	23
小樽	1	6	16
合計	13	41	123

応援要請状況　（他市町から応援を受けた事案）

No.	通 し No.	月　日	時　間	要請側	派遣側	出動隊数	隊員数	搬送者数	出動種別
1	3	3月4日	20時55分	北広島	恵庭	4	11	0	警戒
2	7	4月27日	17時51分	北広島	恵庭	2	8	0	警戒
3	8	5月6日	12時14分	北広島	札幌	16	75	0	火災
4	9	5月7日	17時20分	北広島	札幌	1	5	0	救助
5	11	5月26日	5時30分	北広島	札幌	2	9	0	火災
6	12	5月26日	10時48分	北広島	恵庭	1	3	1	救急
7	10	6月15日	5時46分	北広島	恵庭	4	13	2	救助
8	11	6月21日	17時16分	北広島	恵庭	3	9	0	警戒
9	16	7月15日	18時16分	北広島	恵庭	2	6	1	高速救急
10	17	8月7日	9時31分	北広島	札幌	1	3	1	救急
11	19	9月6日	11時41分	北広島	恵庭	1	3	0	救急
12	21	10月8日	15時29分	北広島	恵庭	1	4	0	救急
13	25	11月17日	8時57分	北広島	恵庭	2	6	2	救急
合　計						40	155	7	

	件　数	出動隊数	隊員数
火　災	2	18	84
救　助	2	5	18
救　急	6	8	25
その他	3	9	28
合　計	13	40	155

	件数	出動隊数	隊員数
札幌	4	20	92
恵庭	9	20	63
千歳	0	0	0
江別	0	0	0
長沼	0	0	0
小樽	0	0	0
合計	13	40	155

警　防　関　係

災　害　出　動　状　況

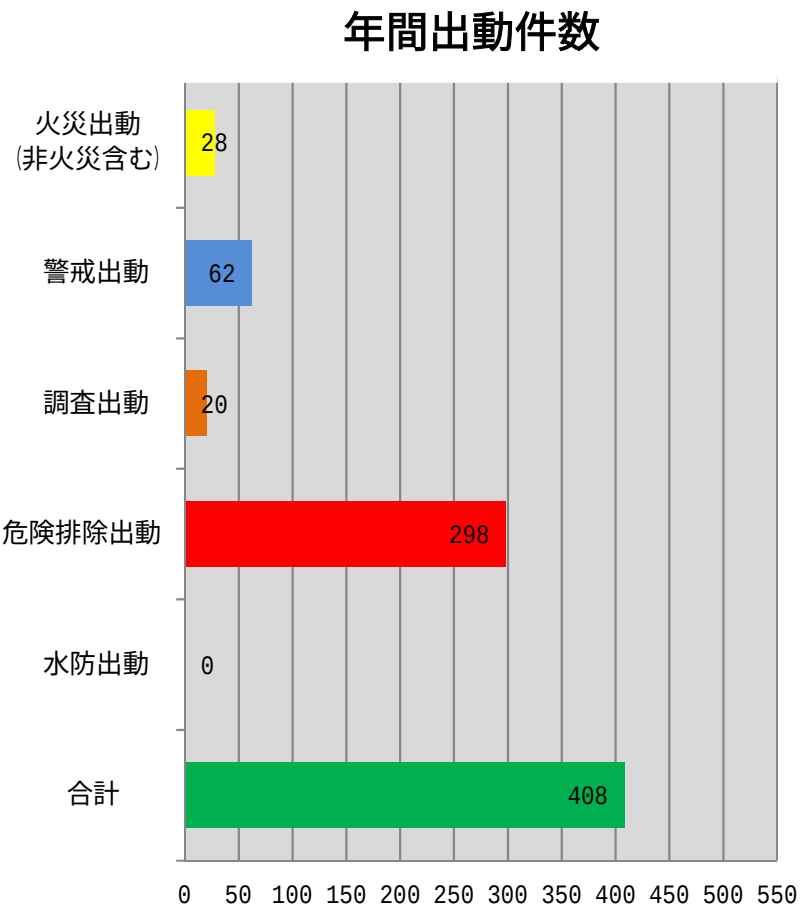
平成31年1月1日～令和元年12月31日

令和元年中の消防隊出動件数（救助出動を除く）は合計408件となり、前年比97件の減少、出動に伴い延べ532隊1677名が出動し、前年比116隊587名減少した。

出動から現場到着までの平均到着所要時間は7分30秒、前年比2分30秒長くなった。

平均到着所要時間が長くなった理由として、北海道広域消防相互応援協定に基づき夕張市へ計6隊を派遣したため。

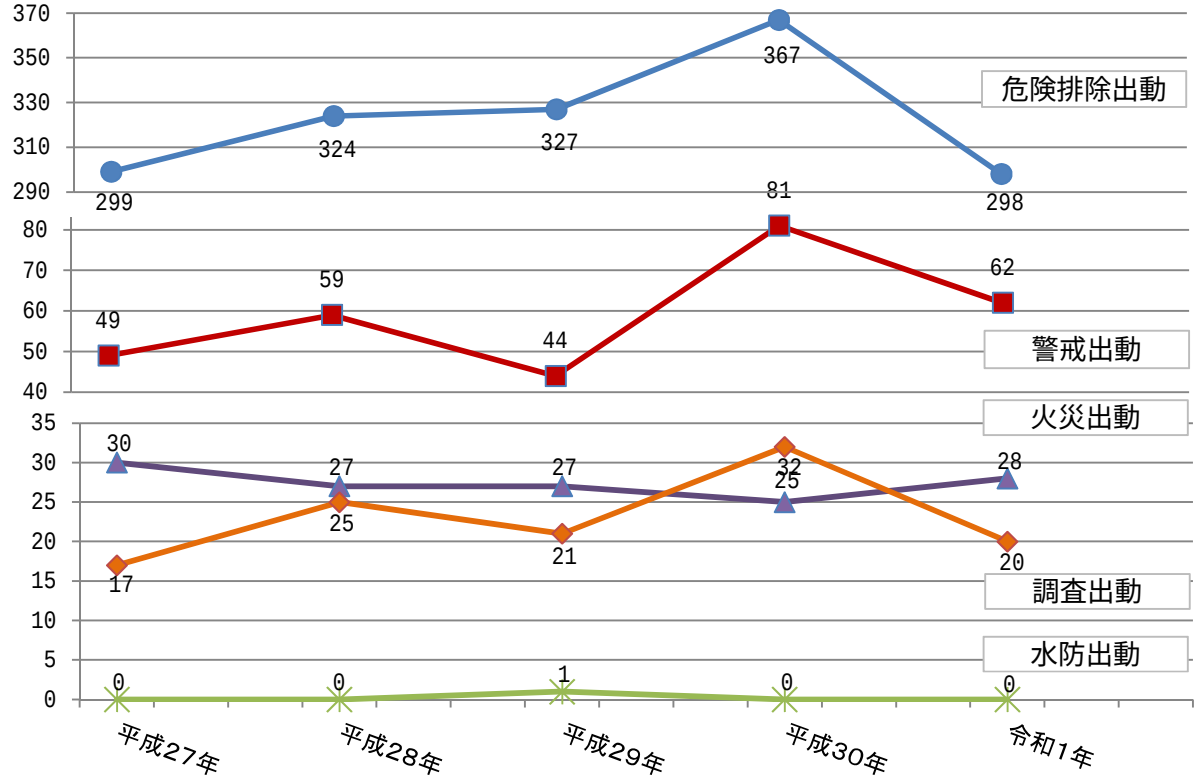
※危険排除出動とは
　交通事故現場における二次災害防止や風水害の被害軽減、救急隊の支援活動及びヘリコプター要請時における安全管理等の出動



月　別　出　動　状　況

区分＼月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	前年	増減
火災出動（非火災含む）	2	2	1	11	3	5	0	0	1	0	3	0	28	25	3
警戒出動	3	5	3	7	5	6	1	8	7	1	6	10	62	81	▲ 19
調査出動	2	1	1	3	3	3	0	0	2	2	2	1	20	32	▲ 12
危険排除出動	28	24	23	19	18	24	22	31	24	30	29	26	298	367	▲ 69
水防出動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
出動回数合計	35	32	28	40	29	38	23	39	34	33	40	37	408	505	▲ 97

過　去　5　年　の　出　動　状　況



過　去　5　年　の　出　動　件　数

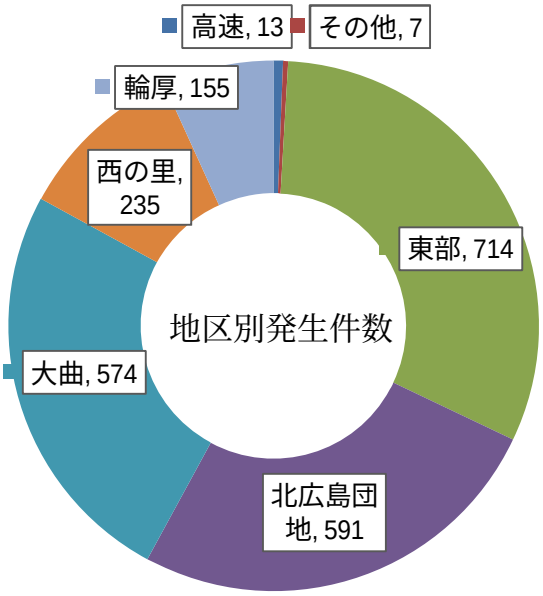
区分＼年別	平成２７年	平成２８年	平成２９年	平成３０年	令和元年	前年比	平均
火　災　出　動	30	27	27	25	28	3	27.4
	(1)	(2)	(1)	(1)	(5)	(4)	(2)
警　戒　出　動	49	59	44	81	62	▲ 19	59
	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0.4)
調　査　出　動	17	25	21	32	20	▲ 12	23
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
危険排除出動	299	324	327	367	298	▲ 69	323
	(4)	(4)	(1)	(5)	(2)	(▲ 3)	(3.2)
水　防　出　動	0	0	1	0	0	0	0.2
	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
出動回数合計	395	435	420	505	408	▲ 97	432.6
	(6)	(7)	(2)	(6)	(7)	(1)	(5.6)

※　火災出動は非火災出動を含む。

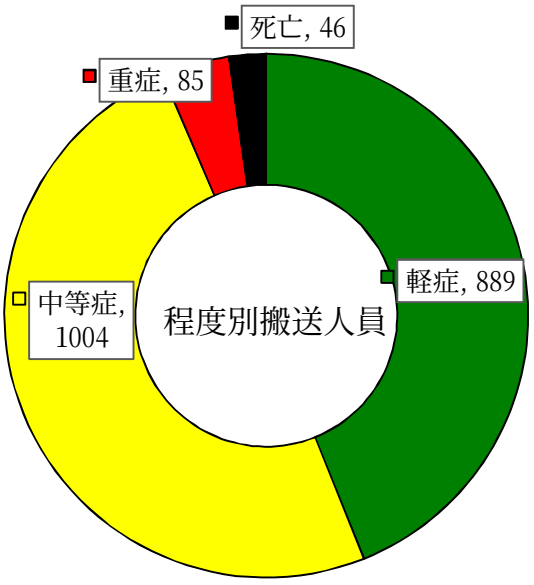
※　（　）内数字は他の市町村へ応援した出動件数の内数を示す。

救　急　関　係

救急出動状況

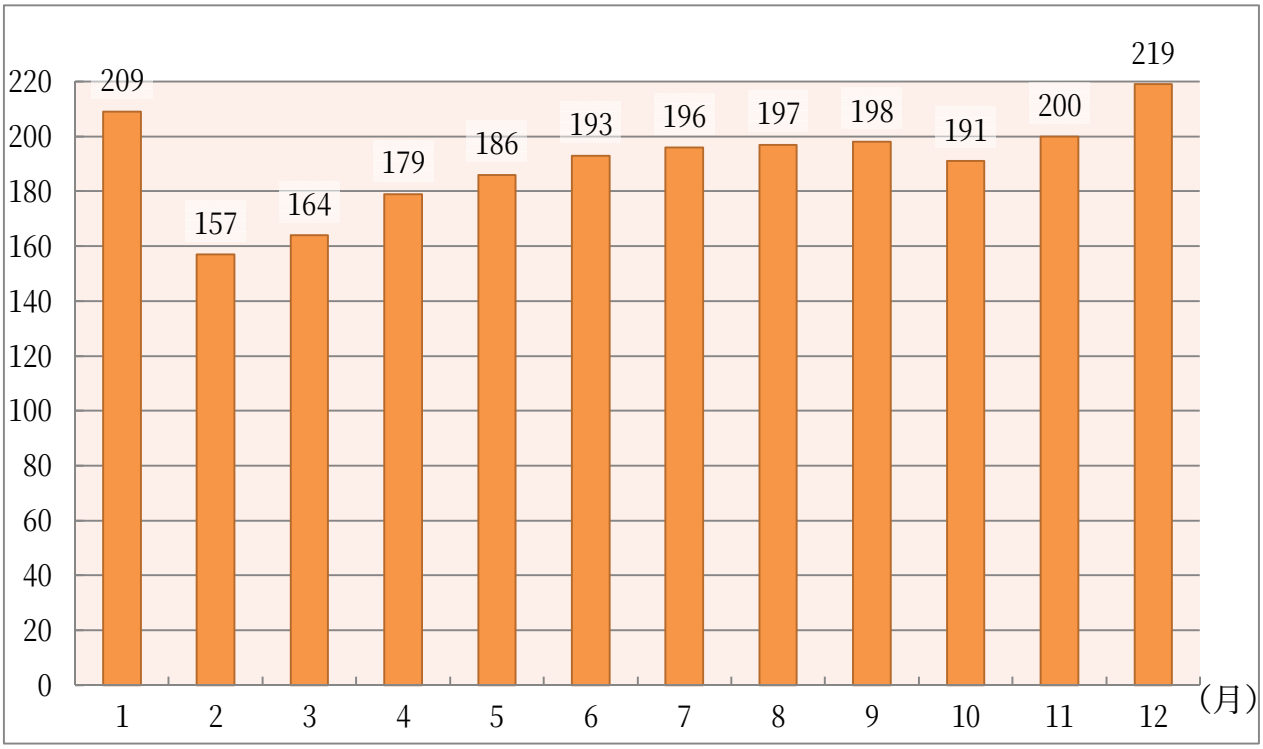


合計　2,289　件



合計　2,024　人

月別出動件数

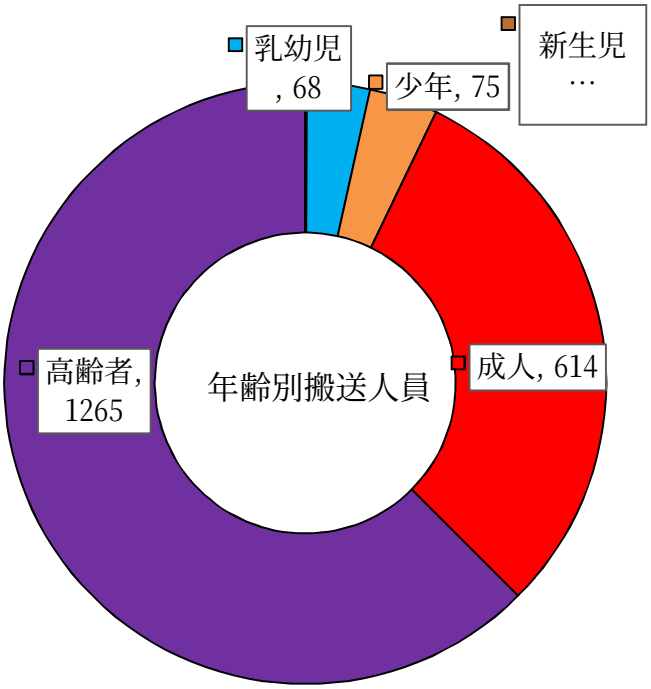


令和元年中は、2,289件の出動があり2,024人を搬送しました。

前年と比較すると出動件数は44件の増加で、搬送人員は3人の減少となりました。

搬送人員の程度別では、例年は軽症の割合いが多いのに対し、令和元年は、中等症の割合いが最も多く全体の49.6%を占めております。

年齢別救急搬送人員状況



新生児　（生後28日以内）

乳幼児　（生後29日以上7歳未満）

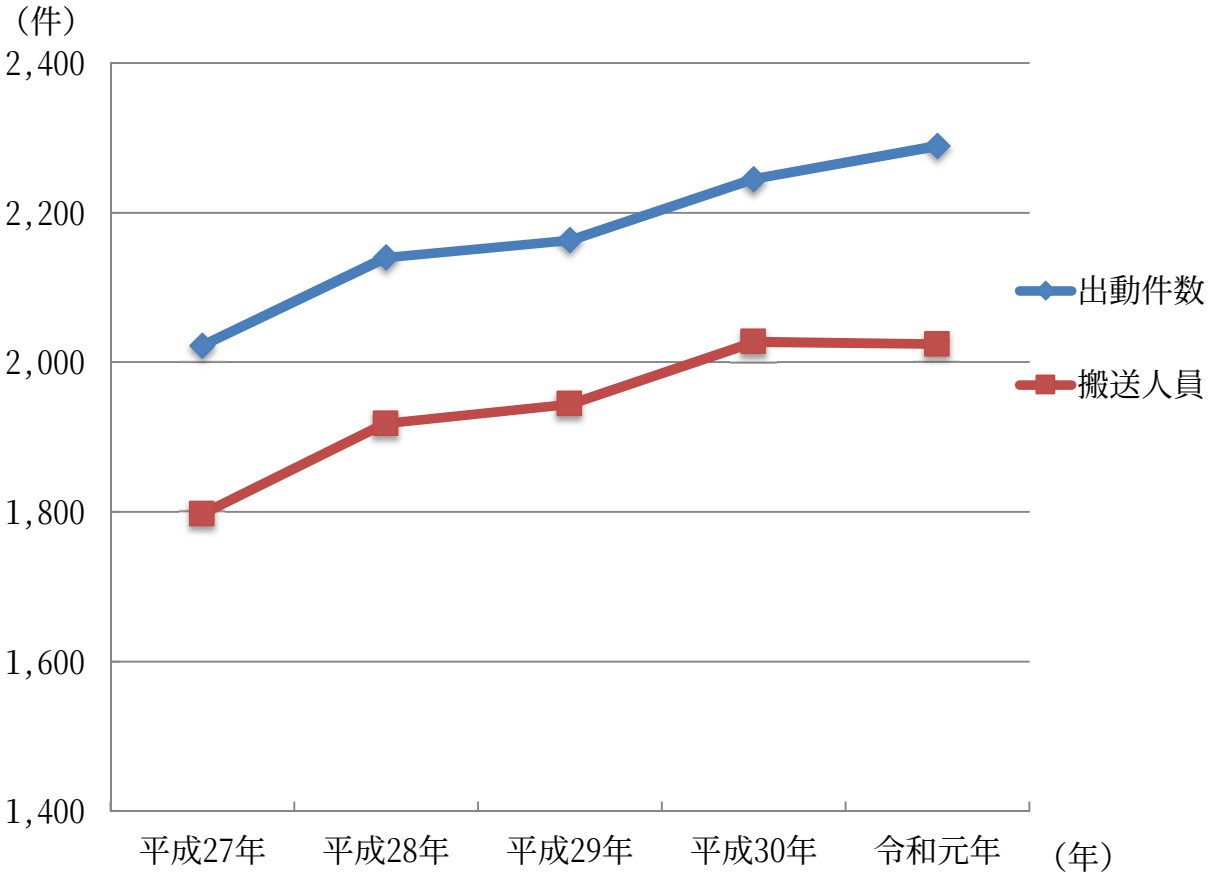
少　年　（7歳以上18歳未満）

成　人　（18歳以上65歳未満）

高齢者　（65歳以上）

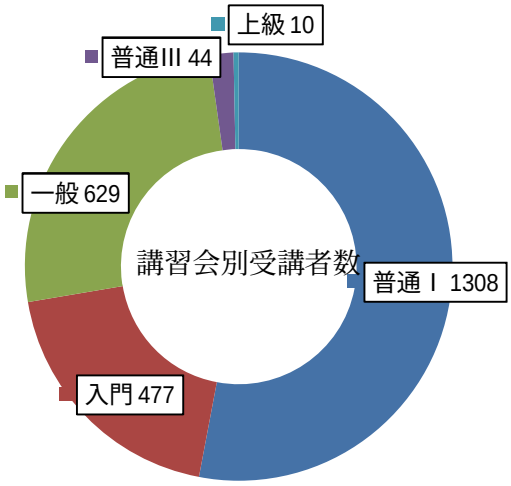
年齢区分	平成30年	令和元年	前年比
新　生　児	1	2	1
乳　幼　児	86	68	▲ 18
少　　年	67	75	8
成　　人	676	614	▲ 62
高　齢　者	1197	1265	68
	2,027	2,024	▲ 3

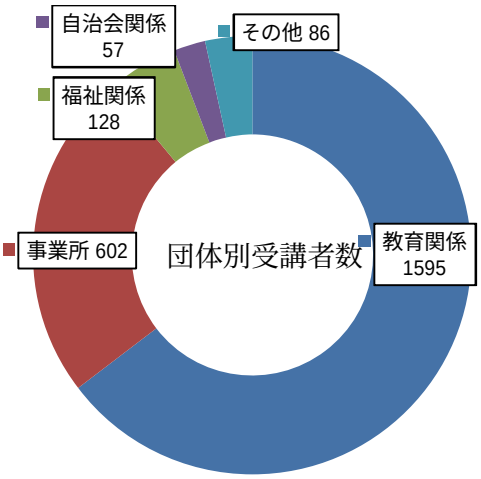
過去５年の救急出動状況



	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比
出動件数	2,022	2,140	2,163	2,245	2,289	44
搬送人員	1,797	1,918	1,944	2,027	2,024	▲ 3

応急手当講習会実施状況





区　分 ＼ 年　別		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	前年比
普通救命講習Ⅰ	回　数	52	70	58	56	63	7
	受講者	1336	1336	1078	1085	1308	223
普通救命講習Ⅱ	回　数	0	0	0	0	0	0
	受講者	0	0	0	0	0	0
普通救命講習Ⅲ	回　数	8	2	5	4	3	▲ 1
	受講者	167	31	80	66	44	▲ 22
上級救命講習	回　数	2	2	1	1	1	0
	受講者	16	15	6	8	10	2
一般救命講習	回　数	43	31	29	29	26	▲ 3
	受講者	918	907	988	681	629	▲ 52
救命入門コース	回　数	18	17	16	15	15	0
	受講者	770	591	510	505	477	▲ 28
その他救命講習	回　数	2	1	0	0	0	0
	受講者	4	11	0	0	0	0
合計	回　数	125	123	109	105	108	3
	受講者	3211	2891	2662	2345	2468	123

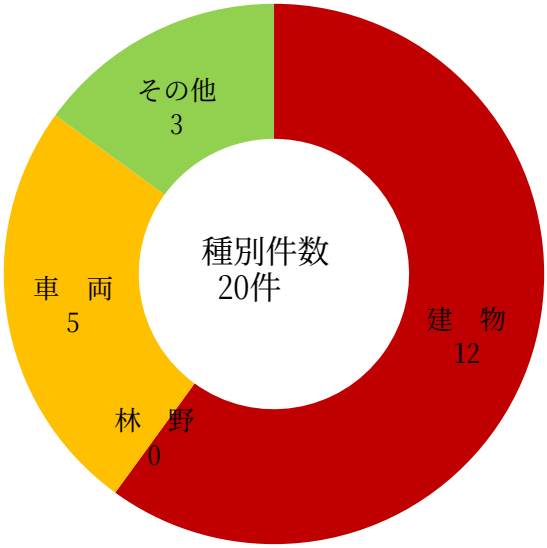
令和元年中の救命講習受講者数は2468人で、普通救命講習、上級救命講習および救命入門コースでの講習修了者は再受講者も含め延べ約1800人となりました。

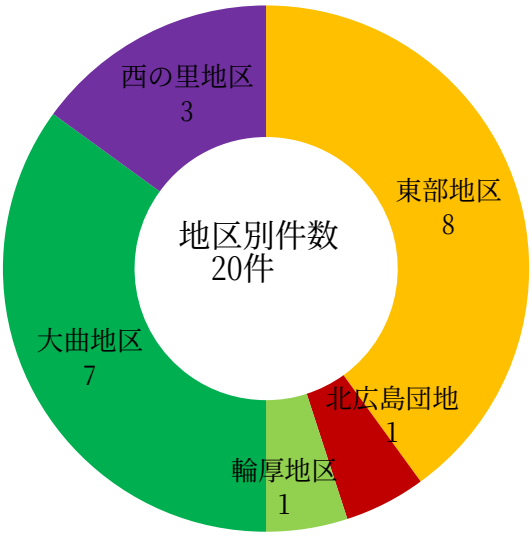
受講者数を比較すると、講習区分別での最多は普通救命講習Ⅰで全体の約53%となり、受講団体別では市内学校の生徒および教諭の「教育関係団体」が最多で全体の65%となりました。

救命入門コースは、主に小学校高学年を対象に開催していますが、児童数減少に伴い受講者数も減少しています。

火　災　関　係

火　災　発　生　状　況

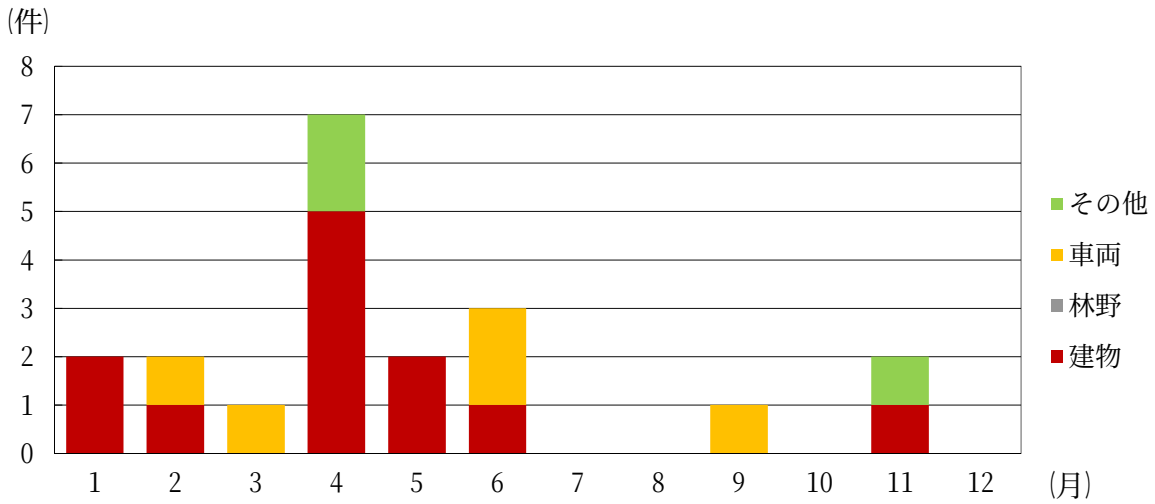




令和元年中の火災発生件数は20件で、前年より6件増加しました。

火災の種別では、建物火災が12件で、車両火災5件、その他火災3件となっています。

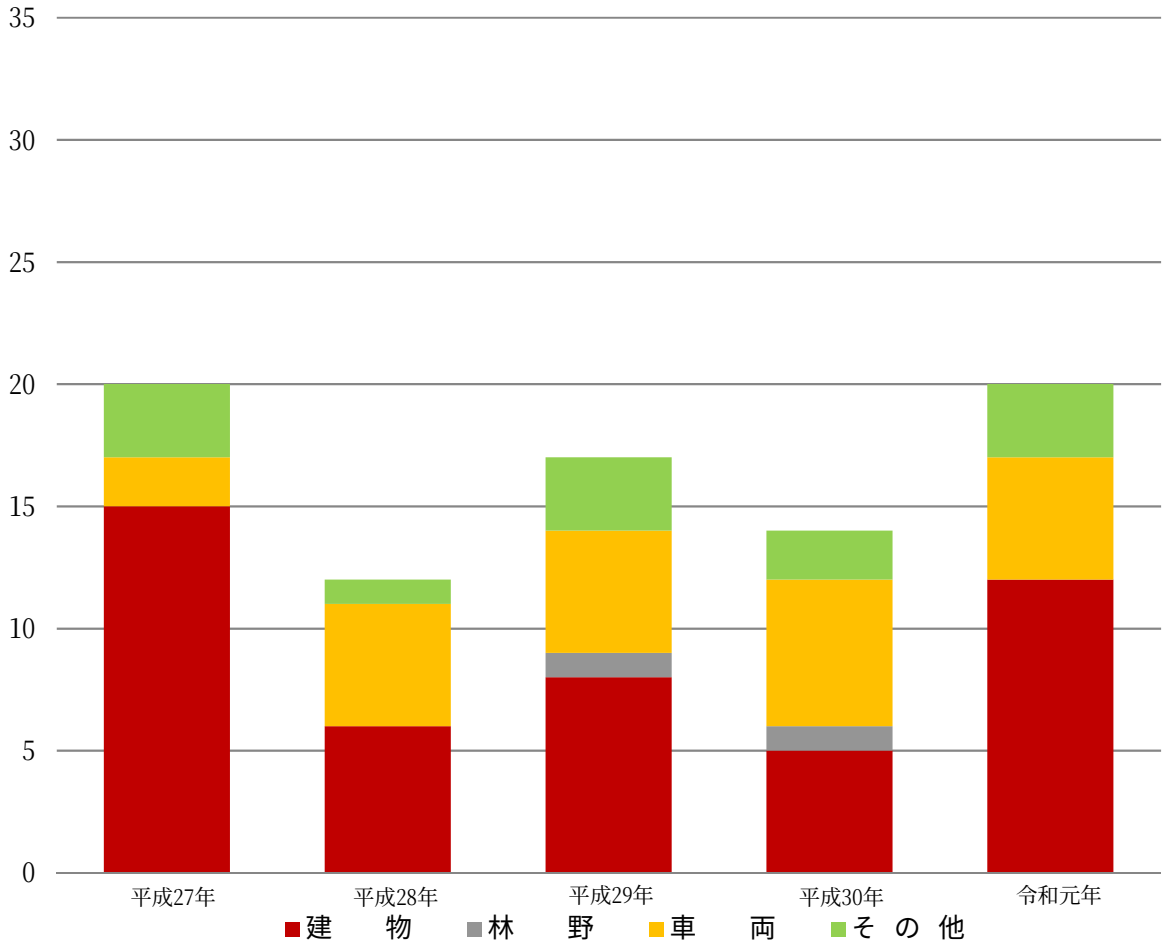
なお、火災による死者は2名、負傷者が2名発生しました。



月 別 火 災 発 生 状 況

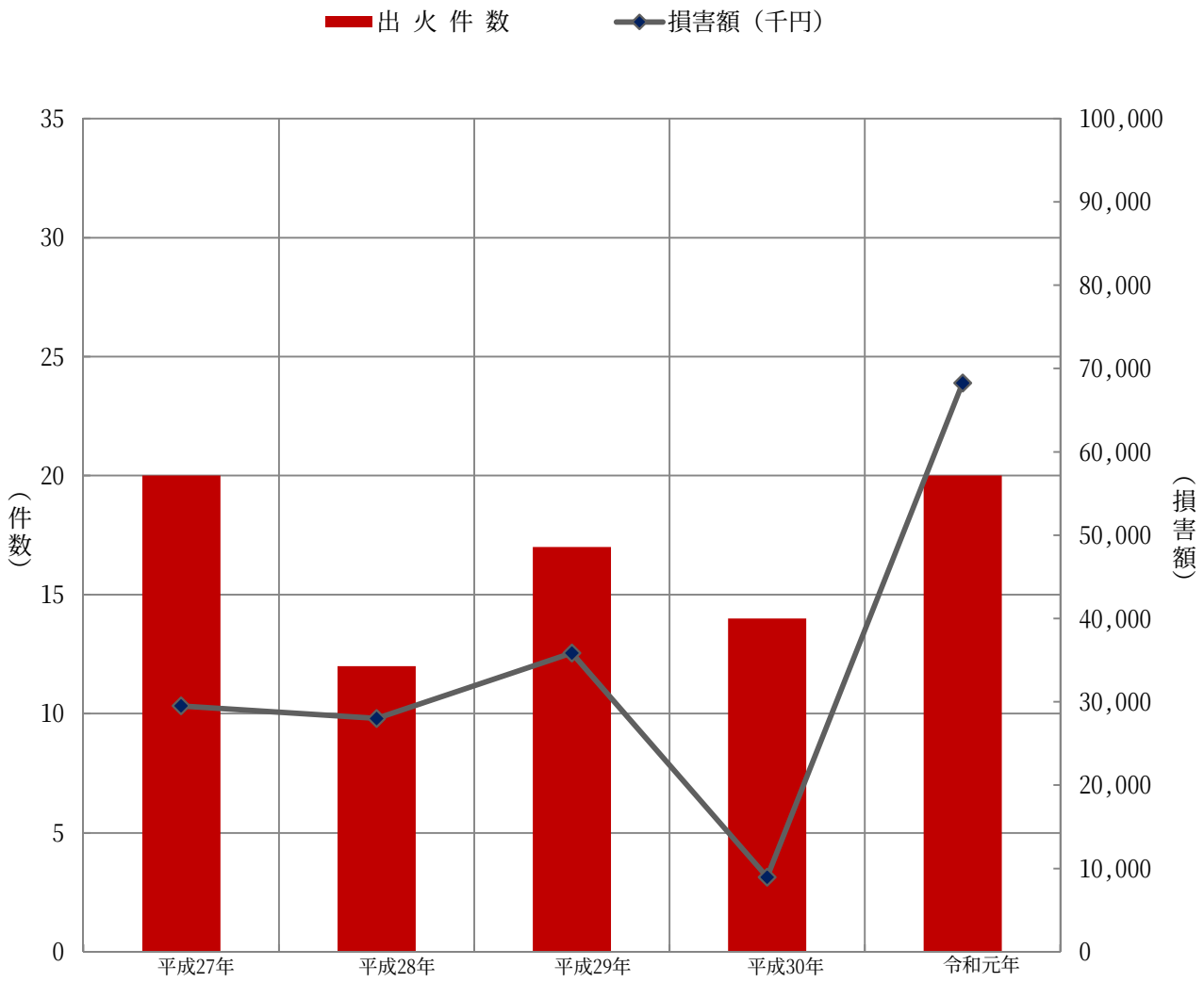
区分＼月別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計	前年比 前年	前年比 増減
火災件数		2	2	1	7	2	3			1		2		20	14	6
（件）	建物	2	1		5	2	1					1		12	5	7
	林野														1	▲ 1
	車両		1	1			2			1				5	6	▲ 1
	その他				2							1		3	2	1
建物焼損棟数		2	1		5	4	1					1		14	5	9
（棟）	全焼				2	4								6	1	5
	半焼											1		1	1	
	部分焼	1			1									2		2
	ぼや	1	1		2		1							5	3	2
	爆発															
建物焼損面積		29			116	280						65		490	62	428
（㎡）	住宅				100	15						65		180	30	150
	非住宅	29			16	265								310	32	278
林野焼損面積(a)					9									9	9	
り災世帯数		2			2	1						1		6	2	4
（世帯）	全損				1	1								2		2
	半損											1		1	1	
	小損	2			1									3	1	2
り災人員		3			7	2						2		14	5	9
負傷者数		1			1									2	1	1
死者数				1		1								2		2
地区別	東部地区		2	1	3		2							8	7	1
	北広島団地				1									1		1
	輪厚地区				1									1	1	
	大曲地区	2			2	2				1				7	5	2
	西の里地区						1					2		3	1	2

火災種別出火件数の推移



種別＼年別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
建　物	15	6	8	5	12
林　野			1	1	
車　両	2	5	5	6	5
そ の 他	3	1	3	2	3
合　計	20	12	17	14	20

出火件数・損害額の推移

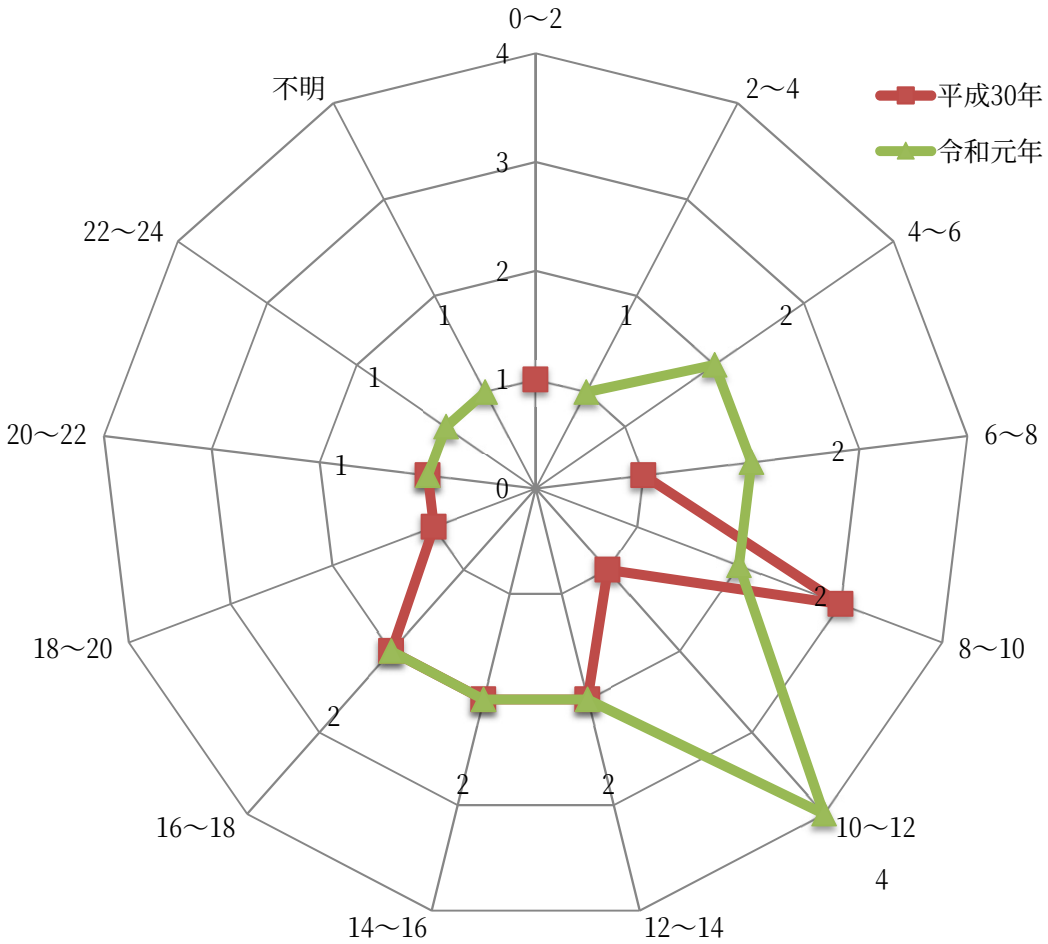


区分＼年別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
出 火 件 数	20	12	17	14	20
損害額（千円）	29,509	28,003	35,872	8,974	68,272

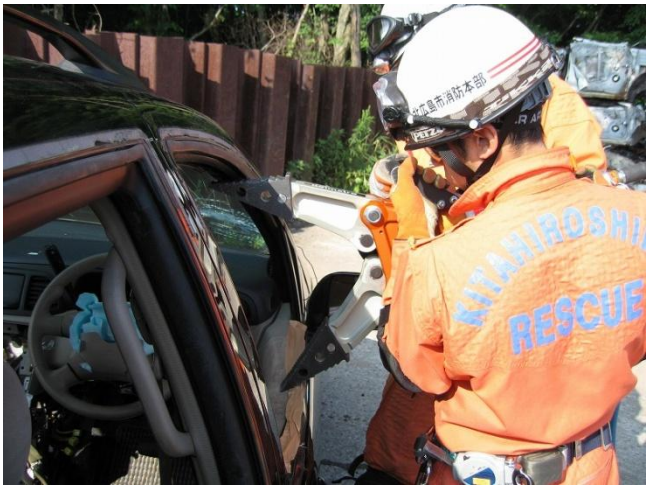
過去5年の原因別火災発生状況

原因＼年別	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
たばこ	2			1	
こんろ	2	1	1	1	
焼却炉					3
ストーブ		1	1		
配線・器具	1	1	2		2
たき火					
放火（疑い含）				1	1
火遊び					
その他	8	4	4	8	4
不明・調査中	7	5	9	3	10
合計	20	12	17	14	20

時間別火災発生状況

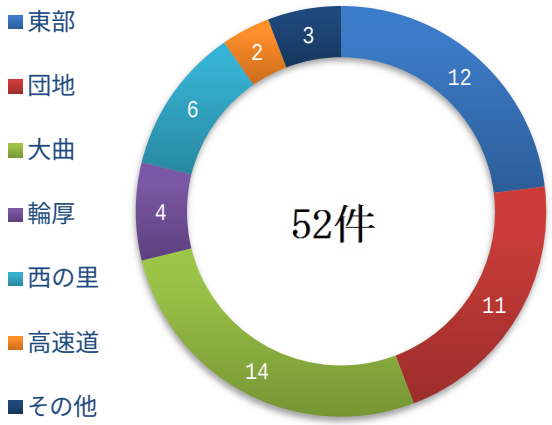


救　助　関　係



救　助　出　動　状　況

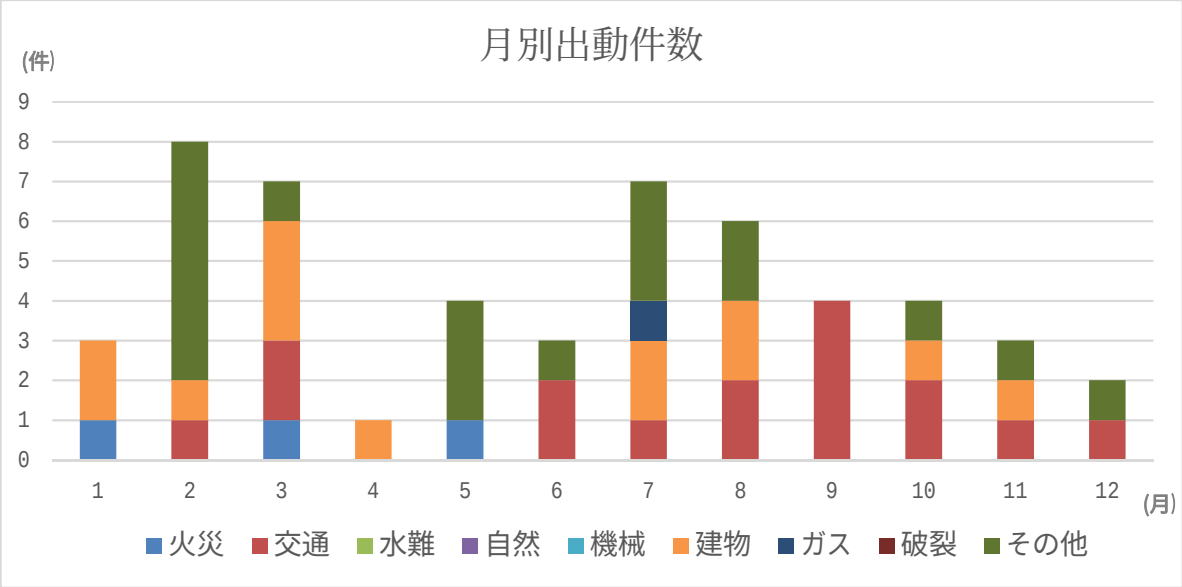
地区別発生状況



○令和元年中の出動件数は前年より5件減少の52件でした。

○活動件数は36件と前年より2件増加であり救助者数は32名と前年より5名増加となっております。

○出動件数を事故種別ごとに見ると、交通事故が16件、建物による事故が13件、その他の事故が19件、火災による救助事案が3件、ガスによる事故が1件となっております。



【過去５年の出動状況】

区分＼年別	27	28	29	30	元	前年比	5年平均
出動件数	57	75	64	57	52	▲ 5件	61.0件
活動件数	39	36	38	34	36	2件	36.6件
出動人員	645	797	696	613	627	14名	675.6名
救助者数	70	31	32	27	32	5名	38.4名

予　防　関　係

予 防 関 係 各 種 届 出 状 況

届出＼地区		東部地区	北広島団地	輪厚地区	大曲地区	西の里地区	合計
防火管理者選(解）任届		43	13	7	37	16	116
消防計画作成（変更）届		45	22	5	34	17	123
消防用設備等	着工届	19		3	17	2	41
	設置届	41	7	7	37	5	97
防火対象物使用開始届		52	9	3	40	9	113
消防用設備等点検結果報告書		450	115	68	303	123	1059
炉・ボイラー等届		7	1		3	2	13
アセチレン･液化石油ガス届		5	1	1	4	1	12
少量危険物貯蔵取扱届		27		2	22	7	58
指定可燃物貯蔵取扱届		1		2	7	1	11
変電･発電･蓄電池設備届		12	4	1	5	3	25
露店等の開設届		9	5	4	21	2	41
少量危険物タンク検査申請		2					2
火災とまぎらわしい行為の届		16	1	8	10	1	36
煙火打上げ届		14	2	4	5	4	29

消　防　同　意　処　理　状　況

工事別受付状況

区分＼地区		東部地区	北広島団地	輪厚地区	大曲地区	西の里地区	合　計
工事別	新　築	21		2	12	6	41
	増　築	2	2		3		7
	その他	4			2		6
合　計		27	2	2	17	6	54
用途別	専用住宅	7	1			1	9
	併用住宅						
	店　舗	4		1	3		8
	工　場				2		2
	事務所	2			5	1	8
	飲食店						
	病　院						
	学　校						
	幼稚園		1				1
	共同住宅	7			2		9
	複合用途ビル						
	倉　庫			1	1	1	3
	官公署						
	下宿・寮						
	遊技場						
	車　庫				1		1
	その他	7			3	3	13
合　計		27	2	2	17	6	54

防 火 対 象 物 状 況

対象物区分				地区別対象物数					
				東部地区	北広島団地	輪厚地区	大曲地区	西の里地区	合計
1	ロ	公会堂・集会所		10	6	3	10	5	34
2	ロ	遊技場・ダンスホール		3				1	4
3	ロ	飲食店		3		1	3	2	9
4		百貨店・マーケット等		31	5	5	31	11	83
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所		2				1	3
	ロ	寄宿舎・共同住宅		243	99	7	150	44	543
6	イ	(1)	病院（消火体制を有するものを除く）			1	1	2	4
		(2)	有床診療所（4床以上）	2					2
		(3)	病院、有床診療所（(1)(2)を除く）	1			1		2
		(4)	無床診療所	11	4		6	1	22
	ロ	(1)	高齢者施設（避難困難）	7	3	2	5	5	22
		(5)	障害者施設（避難困難）	5				1	6
	ハ	(1)	高齢者施設（避難困難を除く）	3	2	1	1	1	8
		(3)	児童施設	7	3	1	4	9	24
		(4)	障害児支援施設	2					2
		(5)	障害者施設（避難困難を除く）	13	1			10	24
	ニ	幼稚園・特別支援学校		3	2	1	4		10
7		学校・専門学校		12	5	3	3	6	29
9	ロ	公衆浴場		1				2	3
11		神社・寺院・教会		16	2	3	4	1	26
12	イ	工場・作業場		115		36	198	22	371
13	イ	自動車車庫・駐車場		15	2	14	32	5	68
14		倉庫		102	1	42	162	29	336
15		上記以外の事業場		170	17	48	110	46	391
16	イ	1項～5項イ・6項･9項イを含む複合用途		54	26	11	37	10	138
	ロ	上記以外の複合用途		36	5	12	48	9	110
17		重要文化財・史跡等				1			1
合計				867	183	192	810	223	2,275

（棟ごとの件数とし、延べ床面積１５０㎡未満を除く）

危険物施設状況

区分＼製造所等別		製造所	貯蔵所						取扱所		合計
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	移動タンク	屋外	給油取扱所	一般取扱所	
地区別設置	東部地区	5	25	13	5	55	37	4	19	14	177
	北広島団地				2	13	3		2	7	27
	輪厚地区		4	5		20	53		21	3	106
	大曲地区		22	1	1	37	119	1	23	15	219
	西の里地区		2	1	1	23	10		8	5	50
	合計	5	53	20	9	148	222	5	73	44	579
事務処理状況	設置許可申請						21		2		23
	変更許可申請	3	1			5	17		3	2	31
	（設置）完成検査						22		2		24
	（変更）完成検査	3	1			4	17		3	2	30
	仮使用承認申請	2				4			1	1	8
	譲渡引渡届出					2	25		2		29
	廃止届出		1			2	18				21
	完成検査前検査						36				36
	予防規程制定認可								3		3
	保安監督者選解任届出		6			1			12	3	22
	仮貯蔵仮取扱承認申請										0
	合計	8	9	0	0	18	156	0	28	8	227

広　報　活　動　状　況

区分＼地区		東部地区	北広島団地	輪厚地区	大曲地区	西の里地区	合計
防火広報		18	18	11	11	18	76
出前講座	組織･車両説明	2	3	0	1	0	6
	庁舎・施設説明						
	講話・防火映画						
	その他該当メニュー						
防火教室	ミニ消防車	5	11	0	0	3	19
	写真撮影						
	写生会						
	その他該当メニュー						
その他		1	0	0	0	2	3
合計		26	32	11	12	23	104
防火対象物訓練		190	51	26	89	53	409

北広島市消防本部シンボルマーク

災害を覚知してからの迅速な「行動（スピード）」、活動における強い「腕力・脚力」、そして再燃防止・火災原因を研究する「目」。
これら3つの要素を兼ね備えたワシを北広島市消防本部の象徴としている。